



町政を問う「福祉タクシー券の変更は」ほか ③
委員会審議「コロナで苦しむ企業を応援」 ④

令和2年度第4回定例会は令和2年12月7日から14日までの8日間で開催され、議案7件、請願2件を審議しました。慎重に審議した結果、議案は原案通り可決、請願は1件が採択、1件が継続審議となりました。

12月定例会

主な内容

令和2年度宇多津町一般会計補正予算
(第8号) (5013万円) **全会一致で可決**

宇多津町新型コロナウイルス関連融資利用
応援給付金(2000万円)

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響の長期化が見込まれる中、事業継続を支援するため、民間の信用保証付き融資や政府系融資を受けた町内事業者に10万円を支給する。申請期限は令和3年3月5日まで。給付対象予定事業者「200事業者」

県施工事業負担金(1300万円)

「さぬき浜街道新宇多津橋から「ほっともっと」交差点手前までの南側の側道撤去費用の負担金。尚、道路整備は県が負担する。

令和2年度第6回臨時議会は令和2年11月30日の1日限りで開催され、議案3件を審議しました。慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

11月臨時会

主な内容

宇多津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致で可決**

宇多津町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致で可決**

宇多津町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **全会一致で可決**

国の人事院勧告に基づき、町議会議員、町長、副町長、教育長、一般職員の期末手当を0.05カ月分引き下げる。

宇多津町国民健康保険条例の一部を改正する条例について **全会一致で可決**

国の政令改正に伴う条例改正で、国保税の減額対象の基準が拡大され、より多くの方が減額の対象になるよう改正するもの。

請願第1号「所得税法第56条の見直し」の意見書採択を求める請願書 **全会一致で継続審議**

請願第2号 日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准をすることを求める」意見書採択を求める請願 **賛成多数で採択**

11月臨時会

○は賛成、×は反対、欠は欠席、△は採決退席

審議案件		神出	水本	港	大黒	井上	西本	濱中	大松	宮本	藍川
議案	町議会議員の報酬・費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	欠	○	○	○	○		○
	町長・副町長・教育長の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	欠	○	○	○	○		○
	町の一般職職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	欠	○	○	○	○		○

12月本会議

審議案件		神出	水本	港	大黒	井上	西本	濱中	大松	宮本	藍川
議案	令和2年度 宇多津町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の時のみ、裁決を行う	○
	令和2年度 介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	宇多津町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	介護保険条例及び後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○		○
請願	「所得税法第56条の見直し」の意見書採択を求める	次回定例会までの継続審査									
願	日本政府に「核兵器禁止条約の調印・批准を求める」意見書採択を求める	○	×	○	×	×	○	○	○		○

町政を問う

(一般質問の件名)

濱中 保夫	・福祉タクシー券の変更は可能か	港 一紫	・宇多津町の税金の在り方、使い方は
大松喜次郎	・ゴミ収集車の現場事務所の整備を真剣に ・用水路の転落防止対策を適切に	大黒 一也	・事故防止と事故現場対応は ・摂食障害への対応は
藍川佳津樹	・水族館開館後の周辺環境への影響は	井上 弘治	・遊歩道を活かす健康志向の都市モデル
神出 佳宏	・コミュニティバスの今後は ・少人数学級への移行は	西本 祐子	・子どもの育ちを地域で ・妊婦への支援を充実せよ
水本富美子	・体育館へのエアコン設置の進捗状況は ・3歳児健診の視力検査に機器導入を		

コロナで苦しむ企業を応援

委員会審議

コロナ関連融資応援給付金

- Q** 対象の企業は何社か。
- A** 今回はセーフティネット保証などの融資を利用している方が対象で、159社がその保証認定を受けている。それを踏まえて200社程度と見ている。
- Q** 前回の時間短縮の協力金では何社が応募したのか。
- A** 95社が応じた。
- Q** サービス業は苦しいと聞くが。
- A** 香川県の経営者団体によるアンケートでは売り上げは減っている。その中で、求められている支援は、正確・迅速な情報提供と柔軟な金融支援となっていた。国の動向を見守りたい。

まちづくり課

コロナ検査センター

- Q** 坂出市と宇多津町で共同のPCR検査センターを設置しているが、今まで何人が受けたのか。
- A** 30名弱（12/9現在）が受けており、陽性者は出ていない。
- Q** 規模を拡大する可能性はあるのか。
- A** 1日5名までで、それ以上は来ていないため、拡大の予定はない。



健康増進課

マイナンバーカードの普及

- Q** マイナンバーカードの普及は進んだのか。
- A** 町では4500人の方が取得されている。交付率は約21.5%（11/30現在）である。



住民生活課

健康保険証の変更

- Q** マイナンバーカードは保険証として使えるようになるのか。
- A** 令和3年3月から使えるようになるが、医療機関の中には対応できないところが多くある。しばらくは保険証を発行する。

健康保険 被保険者証	本人（被保険者） 平成〇〇年〇〇月〇〇日交付 記号 〇〇〇〇 番号 〇〇〇〇	〇〇〇〇
氏名	コタ オツロウ 甲田 乙朗	
生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	性別 男
資格取得年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	
事業所所在地	甲県乙市丙町〇丁目〇番地	
事業所名称	〇〇 株式会社	
保険者番号	□□□□□□□□	
保険者名称	〇〇〇〇〇〇	
保険者所在地	甲県乙市丁町〇丁目〇番地	

印

健康増進課



はまなか やすお
濱中 保夫 議員

福祉タクシー券の変更は可能か

保健福祉課長 住民の意見を踏まえた上で前向きに検討していきたい
町長 助成事業の要項見直しを指示している

問 福祉タクシー券の一枚500円を24枚で作られている。平成30年度決算では対象者2198人、申請者1471人交付率66・9%で使用率68・7%である。

令和2年10月2日より「みんなのおでかけバス」の運行が始まった。このバスは交通が不便な地域の解消や、高齢者等の交通手段を確保するため、宇多津住民の声から生まれたコミュニティバスである。福祉タクシー500円券を一枚200円にすれば、今までタクシーしか使えなかったのがバ

スでも使え、利便性のある券になるのではないか。また初めて福祉タクシー券を申請するにあたり民生委員の印鑑が必要とし、民生委員の方々に負担をかけずに直接担当課に申請する方法は可能か。

磯崎保健福祉課長 現在

コミュニティバスについては試行運転が開始して間もなく、また令和5年9月末までの試行運転としており今後、住民の意見を踏まえた上で前向きに検討していきたい。
谷川町長 民生委員の印鑑なしで申請はできない

かという質問であれば、交付申請書の様式で民生委員の確認印が必要となっており、民生委員の印鑑のないものは受付できないということになる。

問 3月議会と同僚議員から75歳以上には全員に出せばと言う質問もあり、これは条例ではなく要項なので、多少は変えられると思うがその点はどうか。

谷川町長 私の方から対象にするような緩和

についてのはの検討を前向

きにさせていただくと3月議会で答弁し6月にも同じ質問があり、6月議会終了後課長会の反省会で助成事業の要項見直しを指示している、この事案について異論がなければ議会の総意ということに理解をさせていただき要項の見直しに着手することができるとのこと。

要望 要望として、議会のほうで話し合い、結論を早く出したいと思う。



だいまつ きじろう
大松 喜次郎 議員

ゴミ収集車の現場事務所の整備を真剣に

住民生活課長 衛生施設などの整備については検討したい

問 事務所は老朽化が進み、車庫の北側には水が勢いよく流れている排水路があり、古いポンプが設置されている。非常電源がなく、くぼ地のため、大雨などの災害時に水が溜り、ゴミ収集車などが使えなくなると感じる。

ところで、事務所などが公共施設管理台帳にな

く、火災保険に入っていないのは何故か。

再質問 企業とは、話合いができない状況なのか。

とところで、事務所などが公共施設管理台帳にな

今井住民生活課長 衛生事務所は昭和58年の火災で建て替えられた。また、排水ポンプ施設も昭和52年に2基設置したが、予備電源もなく老朽化が進んでいる。平成25年にポンプ施設などの更新の検

討がなされたが、共同使用の企業の同意が得られずに修繕を施しながら稼働している。

今井住民生活課長 ポンプ自体と排水設備工事が5千万円ずつで1億円程度かかる。企業と半々の負担が必要になる。企業と話合いが持てたら持っていきたい。

浅野総務課長 衛生事務所を固定資産台帳へ反映するとともに、災害共済保険に加入すべく、手続きを現在進めている。

用水路の転落防止対策を適切に

地域整備課主幹 地元水利組合等々と協議の上進めたい

問 用水路などへの歩行者や自転車の転落事故が香川県で多発している。市道や町道についても対策を進めることが必要と判断し、9月に「用水路等転落事故防止対策検討委員会」を設けた。委員

会は今年度中にガイドラインをまとめ、それぞれの機関がその内容を踏まえた対策を進める。本町では5年半でどれ程の消防本部が出動した用水路転落事故件数があったのか。また、南部地区では

用水路近くの宅地化が一気に進んでいるが、どのような手順で進めるのか。

ドラインに基づいて次年度以降「危険度・重要度」が高い箇所などを中心に効果的な対策を検討する。

金井地域整備課主幹 事故件数は中等症案件が4件、軽症案件が5件の計9件である。策定されたガイ

委員「を設けた。委員

は今年度中にガイドラインをまとめ、それぞれの機関がその内容を踏まえた対策を進める。本町では5年半でどれ程の消防本部が出動した用水路転落事故件数があったのか。また、南部地区では

事故件数は中等症案件が4件、軽症案件が5件の計9件である。策定されたガイ

水族館開館後の周辺環境への影響は

まちづくり課長 住民の苦情は6月再開後は殆ど無い状況

問 コロナウイルスの影響で、大幅にオープンが遅れた水族館。期待を持って誘致した町としても気になるところだ。

水族館がオープンして以来の

- ① 水族館の来館者数。
 - ② 周辺商業施設の経済の動き。
 - ③ 住民からの苦情などの報告の有無。
 - ④ 水族館専用の有料駐車場の利用状況。
 - ⑤ 臨海公園の迷惑駐車場の状況。
- について町が把握している実績や近況を伺う。

古川まちづくり課長

四国水族館の基本計画では、来館者数が初年度年間120万人、20年間平均76・8万人。地域経済波及効果55億円の見込み。これをもとに

- ① 来館者は
6月 7万人
7月 8万人
8月 10万人
9月 9・5万人
10月 9・7万人
11月 9・7万人
- で、平日で一日あたり2〜3千人・土日で3〜5千人の状況。
- ② 経済の動きは、入込み客数で施設の差はあるが、

前年比3割程度アップ。

③ 住民の苦情は当初コロナ感染への不安に関する問い合わせが90件ほど。6月再開後は殆ど無い状況。

- ④ 水族館専用有料駐車場は平日200台、土日は00〜600台で不足の問題はない。
- ⑤ 臨海公園の駐車場は、水族館により公園入り口に誘導看板設置や土日祝日等には交通誘導員を配している。迷惑駐車場の定義は難しいが、町では利用台数、うち県外車の調査をし、注視している。

再質問

水族館開館による「光と陰」は幸か不幸かコロナ禍で薄まった感があるが、近い将来、平時での交通量変化などの調査や水族館側との連携について伺いたい。

古川まちづくり課長

誘致決定以後、町と水族館は連携して「水族館プロジェクトチーム」を立ち上げ、開館にこぎつけた。今後は定期的に連絡会を持ち、水族館は勿論、町内周辺、ひいては香川・四国の活性化にもつながるよう、連携をとって行きたい。



あいかわ かつき 議員
藍川 佳津樹



かんで よしひろ
神出 佳宏 議員

コミュニティバスの今後は

まちづくり課長 停留所や運行ルートの検証を行い協議していく

問 試行運行を開始して2か月経ち、すでに町民から様々な要望が聞こえてくる。試行運行のデータをどのよう活用する予定か。

町議会から幾度となく要望があり、昨年度から地域公共交通会議で協議、承認の上、試行運行を始めた。

の実績データを取る予定である。

再質問 停留所や運行ルートといった利便性の改善に対する課題や試行運行の今後の方針、本格運行に向けての条件は。

議・承認事項であり、乗降数などの実績データやニーズなどをもとに検討いただく。本格運行についてもデータやアンケート、費用対効果も含めて、公共交通会議の協議、また議会での意見、協議も必要と考えている。

古川まちづくり課長 交通

弱者の移動支援として、平成13年以降福祉タクシーチケット配布を実施している状況下で、住民や

乗降データは設置している停留所の必要性、運行ルートの検証のため、停留所ごとの乗降数、利用料金別や回数券の利用人数、乗り換え利用人数やバスの出発、到着時間

古川まちづくり課長 運行
ルートなどについては、地域公共交通会議での協

少人数学級への移行は

教育次長 法整備や教員確保の課題があり、特段の変更はない

問 9月議会では、30人学級への移行は国の法律、県の教職員確保がないと難しいという答弁だったが、国が30人学級に向け

て法改正の動きが出てきている。これを踏まえた現時点での町の方針は。

中谷教育次長 現時点では、国の基準、県独自の乗せで小学校1年生から4年生、中学校1年生まで35人以下の学級に変

更はない。さらなる少人数学級の実現には法整備や教員確保の課題があると認識している。



みずもと 富美子 議員

体育館へのエアコン設置の進捗状況は

町長 令和4年度に整備工事に着手する

問 昨年9月議会で避難

所となる体育館へのエアコン設置について質問したが、町長からの答弁は、広域避難への空調施設の必要性は十分認識している。緊防債や新たな補助金の活用が出来る様、早急に予算の協議と内容を

問 調査研究し検討して行く。早く設置出来ればと思っ

ている。との答弁であった。現在の進捗状況を伺う。

谷川町長

厳しい財政状況ではあるが整備に着手する。これまで調査研究

した内容を精査し、令和3年度に宇多津小学校の

町民体育館、北小学校の体育館の設計をし、令和4年度にエアコンの設置工事に取り掛かりたいと考えている。補助金、交付金の有効な活用を念頭に進める。

再質問

熱源は、どの様にお考えか伺う。

谷川町長

新年度に設計する時、熱源を決定する。

3歳児健診の視力検査に機器導入を

健康増進課長 多角的な判断のもと検討したい

問 弱視とは、眼鏡やコ

ンタクトレンズで矯正しても視力が出ない状態のこと、早期発見、治療する事が重要。4歳以下で治療を開始することで、子供の弱視の95%が改善すると言われている。3歳児健診については、日本小児眼科学会では視力

検査に加えて、フォトス

クリーナーを用いた屈折検査の実施を推奨している。この機器は、屈折異常や斜視などの、両目の状態を発見するスクリーニングの効果も高く、数秒で負担もなく検査を受けることができ、成功率は97%。3歳児健診の視

力検査に、フォトスクリー

ナーを導入するお考えがあるか伺う。
井原健康増進課長 3歳児健診の視力検査において、フォトスクリーナーの導入については、現時点で、見落としの発生がないと思われる事を踏ま



フォトスクリーナー

え、多角的な判断のもと、導入の要否について検討して行く。



みなと かずし
港 一紫 議員

宇多津町の税金の在り方、使い方は

町長 所管課において適正な執行に努めている

税務課長 税金とは社会の会費であり、貴重な自主財源

問 日本を取り巻く税環境は厳しいものとなっている。税の公平性が保たれているのか、いまだ私自身把握できていない。

税金を納める側、税金を使う側、どちらも我々選挙で選ばれた者が徴収、執行を決めている。宇多津町としての税金の在り方、使い方のお考えをお聞きしたい。

として、行政を自主的かつ総合的に実施すると規定されている。所管課において適正な執行に努めている。

税金とは社会の会費であり、貴重な自主財源

再質問 臨時交付金の算定に不満があるが、町としてどのように考えているのか。

我が町は財政力が高いので地方創生臨時交付金も厳しいものがある。我々もその声を国のほうに伝えていく。執行部、議会が一致団結して町政運営を行いたい。

川田税務課長 税金とは

住民が少しずつお金を出し合う社会の会費であり、町が各種事業を実施し、住民の暮らしを支え、豊かなものにするための貴重な自主財源。

谷川町長 我が町は財政力

が高いので地方創生臨時交付金も厳しいものがある。我々もその声を国のほうに伝えていく。執行部、議会が一致団結して町政運営を行いたい。

谷川町長 地方自治法第

1条の2第1項では、地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本



だいこく かずや
大黒 一也 議員

事故防止と事故現場対応は

総務課長 研修会などを開催できればと考えている

の共通認識である。

問 事故は偶発的、相手の過失など、いろいろな要因が。事故を起こすと、自分の過失があるにせよ、近いものでも、小さい事故でも、起こした事故は事実であり、精神的なショックを受ける。特に、

公用車での事故となると、住民の捉え方が厳しい見方があり、厳しく言われる。

浅野総務課長

現在は、

職員を対象とする研修は実施していないので、今後、事故防止の一層の取り組みとして、研修会などを開催できればと考えている。

第1に、救急通報などが人を救護する。

第2に、二次的な被害防止のため車などを安全な場所に移動

第3に、警察への連絡。

その後、必ず役場「上司、総務課長」へ報告するよう随時指導している。

職員の事故防止についての研修会、事故現場での対応はどの様に指導、取り組んでいるのか。

事故現場対応の指導については、運転される方

摂食障害への対処は

教育次長 異常のある数値はチェックしている

問 摂食障害は食事のコントロールを失う病気で、10代には神経性やせ

がり注目を集めるようになってきた。

無理なダイエットによる障害が疑われる児童生徒への対処方法はどのようになっているのか。過去に確認されたのか。

中谷教育次長

学校現場で定期健康診断の身体測定を突然、そのような事態がを受けており、極端に異常の生ずるどうかは判断できない。ある数値はチェックをしているが、摂食障害が疑われることがあるれば、家庭や学校生活に支障の出る報告はあり、更には専門家との連携りません。

症、20代には神経性過食症が多く、女性が9割を占め、最近では男性の摂食障害も増え、今では小学生から中高生の間に広

去に確認されたのか。

学校では、毎年全員が



いのうえ こうじ
井上 弘治 議員

遊歩道を活かす健康志向の都市モデル

地域整備課主幹 歩専道改良、公衆トイレのバリアフリー化

問 少子高齢化、人口減少時代において高齢者が健康で暮らせる事が「大きな社会貢献」との都市モデルがある。行政は、健康づくりを融合する、まちづくりに取り組む必要がある。新都市に既存の景観の良い遊歩道がある。住民が健康意識の向上につながるような道づくりは可能か？遊歩道を活かした健康づくり事業の実施は可能か。

『四国風景街道うたづ今昔ロマン街道』、『うたづさんぽみち』などガイドブックなどでの遊歩道の掲載や、現地の表示だけでなく、情報提供を図るべく検討していく。

井原健康増進課長

県の

『マイチャレンジかがわ』事業に本町も参加。歩くことを基本とした健康づくり事業。いろんな特典もある。

森地域整備課主幹

魅力ある新都市を周遊できる環境を整えるべく歩専道改良、公衆トイレのバリアフリー化を進めている。

この事業の参加の周知啓発に力を入れたい。



この事業の参加の周知啓発に力を入れたい。

日本の年齢階層別将来人口推計
(高齢社会白書(2019年版)、万人)



要望 国、地方も少子化対策を長年しているが、まだ道筋が見出せない。国、本町の人口推計でも年少人口が伸びない。人口構造は、年少人口、生産年齢の人口が減少し高

齢者人口が増加する。この先の活力あるまちづくりの大きな源は、健康的な高齢者の増加である。政策の方向性をしっかりと要望する。



にしもと ゆうこ
西本 祐子 議員



子どもの育ちを地域で

保健福祉課長 児童相談所などと連携している

問 コロナ禍で児童虐待

の相談件数が増えていると聞くと、町独自の取り組みは。また「189」への通報はあったのか。児童虐待について小中の連携は取れているのか。里親制度の利用は。

磯崎保健福祉課長

複雑な事例も増えているため、児童相談所や坂出警察署

妊婦への支援を充実せよ

健康増進課長 オンライン相談は考えていない

問 町では、妊婦に対する産前産後のフォローは

完ぺきだということに安心している。コロナ禍で今後はオンライン相談を望む方も増えると思われるが、町で

はオンラインによる妊婦への保健指導や育児支援サービスの提供の予定はあるのか。

井原健康増進課長

子育て世代包括支援センターで

などと緊密に連携している。「189」への通報は町では件数など把握していない。本町では里親制度を活用した例はあるが、里親はいない。

中谷教育次長

幼保小中の実務者による不登校部会やサポートチームで、情報交換などの連携を図っている。中学校に配置しているスクールカウンセラー

再質問

「189」は町でも件数など把握すべきでは。里親はハードルが高いが、フレンドホームや週末家庭などを呼びかけてみては。

電話相談を行っているが、オンラインの予定はない。

再質問

妊婦タクシー券を商品券などと選択できるようにしては。

磯崎保健福祉課長

「189」については今後、県と連携を取りたい。里親制度は先進的な自治体を参考にしたい。



地域の人とふれあう子どもたち

谷川町長

現在は福祉タクシー助成事業として行っている。新しい制度設計が必要なので、ご提案願いたい。

表紙の説明

1月9日(土)、寒風が吹く中、76名の小学生が参加し、「第69回宇多津子どもロードレース大会」が開催されました。

1～4年生は、1キロメートル。5・6年生は、1.5キロメートルを走りました。今年は、コロナウイルス感染症予防のため、町内の宇多津小学校・北小学校児童のみの参加となりましたが、この日まで一生懸命練習してきた子供達は、たくさんの声援を受けながら、元気よく最後まで精いっぱい走り抜きました。



1位おめでとう!



男子

1年	こばやし 古林	いつき 樹	(宇多津北小)
2年	きた 木田	ノア	(宇多津北小)
3年	おおきた 大北	あきと 章人	(宇多津北小)
4年	すぎうら 杉浦	そうた 蒼太	(宇多津北小)
5年	あやだ 綾田	りく 吏玖	(宇多津北小)
6年	つねい 常井	こうせい 康生	(宇多津小)

女子

ふじた 藤田	さくら	(宇多津北小)
ただ 多田	かりん 花鈴	(宇多津北小)
さかむら 坂村	すい 穂舞	(宇多津小)
とくたけ 徳武	ひな	(宇多津北小)
たにおか 谷岡	ももあ 桃朱	(宇多津北小)
いまだ 今田	こな 心々奈	(宇多津小)

あとがき

令和3年が始まりました。旧年は新型コロナウイルスによる国難の年でありましたが、国民として思いやる心がより一層見える年でもありました。

我々、宇多津町議会議員として少しでも町民に寄り添える施策の提案や実現ができたのではないかと感じています。

そして、医療従事者のみなさまには感謝を申し上げたいと思います。

令和3年は町民みなさまとこの国難を耐え凌ぎ明るい日常生活を切り開いていきたいと思えます。

一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」

(港 一紫)

議会広報特別委員会

委員長 大黒 一也

副委員長 港 一紫

委員 神出 佳宏

委員 水本富美子

委員 西本 祐子

発行責任者

議長 宮本 隆